

Dai·Com Press

東京農業大学第二高等学校 同窓会新聞 [ダイコンプレス]

Vol.
31
2023

東京農業大学第二高等学校 中等部

令和5年開校。



速報!! 国公立大学に102名が合格

- 卒業生509人が新たに加わり、同窓生37,526人になりました。
- 定期総会2023年9月30日エテルナ高崎にて開催予定(詳細は決まり次第ホームページから案内します。)
- チャリティーゴルフ大会2023年11月3日開催予定

周東佑京後援会 会員募集

特集「中等部」開校 令和5年4月より6年間の「中高一貫コース」が始動



中等部入試



新校舎



中等部オープンスクールの体験授業の様子

施設

清潔感のある新設の校舎、充実の設備は向上心を育みます。生徒一人ひとりが、未来を切り拓く力を養う環境を整えています。



教室



ICTルーム

アクティブラーニング教室

2022年の国公立大学現役合格者実績が過去最高の112名(全体比19.1%)となりました。2年連続で東京大学現役合格者を出すなど、進路や成績を反映したコース制導入から7年、農大二高は進学校として着実な進化を遂げています。

この4月から「中等部」を新設し、6年間の中高一貫教育が始動します。

中等部では「語学・グローバル教育」「ICT・プログラミング教育」「理科教育」を教育の3本柱に、東京農業大学の併設校という特長を活かした中・高・大連携の教育を展開。

理科では、観察や実験など体験的な学びを多く取り入れ考える力を養い、エンジニアリングやテクノロジーに結びつく知識を身に付けます。

加藤秀隆校長は「英語を話せる理系人材など、実社会の即戦力となる人材を育てたい。進路の新しい道筋を示し、子どもたちの選択肢を広げたい」と、決意を述べています。激動の時代を力強く生き抜く力を育む、私学ならではの独自性のある教育を追求していきます。



制服はコシノヒロコのデザイン。機能性をより重視しています。男子はこれまでの学ランから、ブレザーにかえ、知的な青ネクタイを合わせました。女子は人気のチェックスカート。女子のサマーベストは紺と白から選べます。[写真のモデルは高校生です。]

教育目標「開拓と創造」の精神の育成

目標を達成するための6つの力

1. 基本的な知識と技能
2. 知的好奇心に基づく主体性
3. 他者を理解し、他者と協働する姿勢
4. 論理的な思考能力
5. 豊かな表現力・コミュニケーション能力
6. 力強い発信力と確かな行動力

●人材育成のイメージ



- 発信力・表現力・行動力
- 協働性・コミュニケーション能力
- 知識・技能・論理的思考力
- 知的好奇心・主体性

教育の3本柱



1 語学・グローバル教育

- ①大学進学につながる語学力を育みます。
- ②コミュニケーション能力を強化し、他の文化や多様な価値観にふれます。
- ③日本人教員と複数の外国人教員がナビゲートします。

2 ICT・プログラミング教育

- ①情報機器やアプリケーションの使用方法を身につけます。
- ②身近な質問に対して、情報技術を用いて他者に説明できる力を身につけます。
- ③プログラミングロボットを用いて、プログラミングの基本を理解します。
- ④情報技術を用いて、自己表現や問題解決ができるようにします。

3 理科教育

- ①東京農業大学の併設校である長所を活かし、中・高・大が連携した教育を展開。
- ②自然現象を観察・考察することにより、論理的に考える力や科学的に実証する力を育みます。
- ③実験授業を多く取り入れ、科学的な事象を体験的に学びます。

[写真はオープンスクール体験授業の様子。]

学習・進路指導のポイント

①進路目標の達成

- (1)海外の大学を含め、生徒が希望する進路に対応
【主な目標大学】・国立難関大学10大学、国公立大学医学部医学科・早稲田大・慶應義塾大学など最難関私大
- (2)「6年間」を見据えた一貫した学習指導、進路指導
- (3)高校受験のないメリットを最大限生かす

②どこにも負けない授業づくり

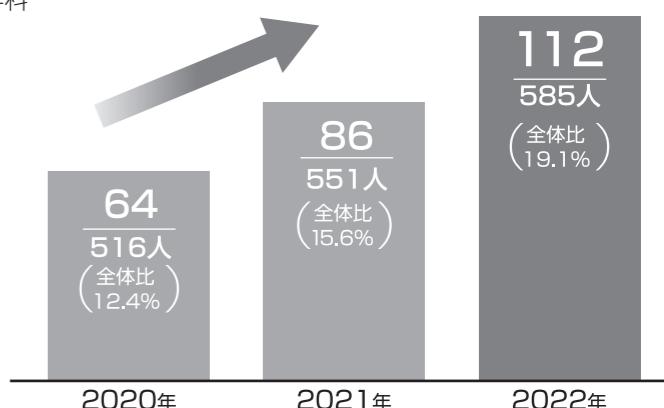
- (1)レベルが高く、好奇心、探究心をくすぐる授業
- (2)定期的な教育研修の実施
- (3)多くの体験型授業の実践

③個に対応したサポート

- (1)好きな分野、得意な分野の学習をさらに伸ばす支援
- (2)不得意な分野の学習を丁寧に支援

国公立大学現役合格者数の推移

※分母人数は卒業生総数



東京農業大学第二高等学校
同窓会長**清水 洋** (5期生)

東京農業大学第二高等学校長

加藤 秀隆**大西前校長先生からの挨拶**東京農業大学第二高等学校
前校長**大西 修**

同窓会員の皆様におかれましてはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃より同窓会活動にご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。

ここ数年世界的不安な世の中ですが、まさかこれほど長い間コロナウイルス感染症が続くとは思いもしなかった今日です。同窓会活動は制限されてきましたが様々な工夫と努力により今迄とは違う対応で乗り越えています。

様々な同窓会活動の中で、育英奨学金制度(無償)を設立し、諸事情で在籍が困難となりそうな家庭に対して同窓会が支援もしています。また、4年度は同窓生の明るいニュースがたくさんありました。石川久行さん:黄綬褒章受章、井野俊郎さん:防衛副大臣就任・清水真人さん:国土交通大臣政務官就任、周東佑京さん:野球WBC選出、柳田大輝さん:U20世界陸上リレー金メダル、そして先日、西山和弥さん:大阪マラソン日本人トップ等素晴らしい活躍でした。在校生では陸上部・吹奏楽部・競技かるた部の全国大会活躍だけでなく、たくさんの部活動も活躍をみせてくれました。

そして4月からは、「開拓と創造」の精神の育成を教育目標に掲げ中等部が開校し、今まで以上に地域社会から期待される母校となってきています。

今年度は、通常の同窓会活動を行い、9月に総会懇親会・11月に育英奨学基金ゴルフ大会を計画しています。同窓会のHP等でご案内いたしますので、興味のある方はぜひご参加くださいますようお願いいたします。

最後になりますが、母校の益々の発展と同窓生の皆様のご健勝を祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

同窓会の皆様におかれましては、日頃より母校農大二高の教育活動にご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

さて、農大二高は創立62年を迎えました。4月には中等部が開校し、新しい一步を踏み出しました。おかげさまで、中等部の入試については、募集定員の70名を大きく上回る方々が志願をしてくれました。農大二高が今まで築いてきた伝統や校風、さらには近年の教育内容の充実を評価していただいたものと感謝しています。中等部・高校ともに、探究的な学習やグローバル教育、IT教育などを計画的に取り入れ、多様化する価値観や社会の変化に対応できる人材の育成に注力し、地域社会からの期待に沿えるよう教職員一同、努力を惜しまず邁進してまいります。

昨年は、陸上競技部で団体の走り幅跳び少年A、少年Bでそれぞれ優勝、駅伝は5年連続31度目の全国大会出場を果たし、全国10位という結果を残しました。また、吹奏楽部は全国マーチングコンテストにおいて2年連続の金賞をいただきました。さらに、競技かるた部は団体で全国大会3位という実績を残しています。

今年も農大二高は、明るく伸びやかな校風と文武両道の伝統を引き継ぎながら、社会に必要とされる人材の育成を目指します。新しい実績を積み重ね、地域の方々や同窓生の皆様に信頼されるよう歩み続けます。今後もご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

農大二高の同窓会の皆様、今年度も農大二高の生徒に数々のご支援をいただき、ありがとうございます。同窓生の皆様が社会でご活躍されていることが、在校生の目標であり、大きな自信・誇りとなっています。

先日、3月1日に卒業式に参列させていただきました。約1年ぶりの農大二高は中等部校舎が完成し、卒業生の晴れの日にふさわしい明るく生きる力を感じさせる学校でした。会場である体育馆に保護者と共に吹奏楽部の演奏を聴き、校歌を歌うことができた久しぶりの卒業式でした。

卒業生は、グローバルコースの1期生を含め、3年間新型コロナに翻弄された学年でした。その中で、男子寮「鶴陵舎」が完成し、校内全域でWi-Fiが使用可能となり全員がiPadを授業で使い始めました。onlineでの学習や動画やプロジェクトを活用した学習等の先進的な学習活動を推進する一方で、「文武両道」「何事にも主体的に取り組める人材の育成」等の農大二高の変わらぬ生きる力を育むことは忘れずに実践されました。卒業生の答辞は、その3年間を凝縮し、大きく育ち、次のステージに向けて進んで行く力を表す感動する内容でした。

私は、農大二高で4年間校長を務めてまいりました。その間、学校は生徒を育てるチームでなければならないと考えて実践してきました。学校(教職員)、保護者、同窓会、地域、後援会等、学校を取り巻く方が環境を作り、援助することで生徒を育てることができます。そして、農大二高は進化し続けます。時代の先へ進んで行く学校として、高崎の地で未来に向かって主体的に取り組める人材を育成し、高崎のブランドとして輝いていきます。

今年の卒業生も仲間に加えていただき、同窓会が発展し、生徒へご支援・ご協力をいただけるようお願い申し上げます。

【寄稿】学生が輝く大学づくりを目指して

東京農業大学 学長

江口 文陽 (20期生)

わが国では、急激な物価上昇による影響、エネルギーおよび食糧安全保障などが課題となっています。さらに金利引き上げに伴う経済状況下で教育・研究分野にも大きな問題が発生しています。社会課題の解決を成長戦略に結び付けたGX・DXなどへの取り組みは、大学や高校における成長戦略のためにも大切であり、その実装は大きなチャンスでもあります。東京農大のような「総合農学」を推進する機関は、実学主義の中で培ってきた学生が「自ら考える」「人に尋ねる」「実験する」などの行動によって人間力を高めます。こうした哲学を最大限に活かした中・高・大連携の活動がブランド力を高めるための戦略であり、中長期における大学選びに繋がるとともに、学生にとって真の教育と研究のシステム創生になると確信します。東京農大は、農大二高との連携強化や学部・学科の特性を活かしたSTEAM教育を実装します。さらに、東京農大らしさでもある「人を思うこころ」を持った行動を大切にする教育と研究、さらには課外活動の推進を目指します。私は、多くの方々の意見を聞くとともに情報と知識を最大限に活用して即時対応します。「東京農業大学らしさ」「学生の輝く大学」を創出してまいります。このような東京農大に同窓会会員のお子様や農大二高生が入学してくださることを期待します。

母校の様子**グローバルコース [海外留学コース]
～世界で活躍する人材を群馬から～**

グローバルコース 澤田千秋 先生



2020年に入学した1期生も卒業の年を迎めました。約1年間の留学を課していることが本コースの最大の特徴であり、魅力といえます。留学にむけて英語力を鍛えることはもちろんですが、「世界の出来事を自分事にする」と言う考えのもとグローバル教育を行い、3年間の歩みをすすめました。

新型コロナウイルスの影響を大きく受けた1、2期生は国や期間に変更が生じ、日本で過ごす時間も長くなりましたが、その間にウクライナ難民支援募金活動や海外に向けてオンライン発表をするなど、国際社会と関わる活動を継続しました。

総合探究の時間には、外国人講師による実践的な語学演習に加えて、世界について知る機会も設定しています。JICA(独立行政法人国際協力機構)やUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)をはじめとする国際協力機関、一般企業の方で国際的に活躍されている方々よりグローバル講演会をしていただきました。講演では、高校時代に考えていたことや現在のお仕事や活動をどのように選択し、歩みを進めてきたかといった内容を中心にお話いただきました。また、各国の課題やお仕事に関するワークショップなども交えて



いただき、生徒たちが主体的に活動し外国の出来事について自分の考えを持つ機会となりました。このような新鮮な学びの場を通して、実際に関わらなければわからない、世界の実情や課題について生徒たちは身近に感じ考えを深めることができました。

2022年3月からは、群馬国際アカデミーと市立前橋高校との連携活動も開始しました。公立私立の枠を越えた3校が集まり、個人が関心を持つ社会課題について互いに学びを深めています。本校生徒は、群馬の魅力を海外に発信できるガイドブックを作成することを最終目標にしています。

本活動を進路とつなげる生徒も多く、ゆくゆくは大学での学びにもつながるように努力をしています。国や立場を越えた様々な人の関わりを自らの実践へと変える第一歩を踏み出しました。グローバルな視点でローカルな課題に取り組む「グローカル」を旗印に農大二高グローバルコースは日々挑戦を重ねています。10代での長期留学という経験を通して広い視野を持ち、変動の激しい社会の中でも、しなやかに生き抜く力を育んでくれることを期待しています。

農二トピックス

石川久行さん 黄綬褒章を受章

8期生の石川久行さんが黄綬褒章を受章されました。誠におめでとうございます。石川さんは、和菓子製作全般の技能にすぐれ、全国でも数少ない「有平細工」では国内第一人者と目されています。「現代の名工」にも選ばれています。「鉢の木七福久」店主。これからも健康面には留意して、和菓子の普及に励んでいただきたいと思います。



衆議院議員 井野俊郎さん 防衛副大臣に就任

34期生の衆議院議員 井野俊郎さんが防衛副大臣兼内閣府副大臣に就任しました。井野さんは、誰にでも平等に努力するチャンスが与えられ、努力をする人が正当に評価され、例え失敗しても再び挑戦する機会が与えられ、誰もがチャンスを得ることができ、自らの努力で活躍できる社会になるよう努力しています。応援しましょう。



参議院議員 清水真人さん 国交政務官に就任

30期生の参議院議員 清水真人さんが国土交通大臣政務官に就任しました。清水さんは、市議会議員2期8年・県議会議員2期8年の経験を生かして参議院議員となりました。群馬・日本に生まれて良かったと思える国づくりに、全力で取り組みたいという強い意志で日々努力しています。応援しましょう。



周東佑京さん WBC代表として大活躍

43期生の周東佑京さん(ソフトバンク)が3月に開催された第5回ワールド・ベースボールクラシックに日本代表として選ばれ準決勝ではサヨナラ勝ちとなる好走塁をし陰の立役者となりました。周東さんは、ソフトバンクより育成2巡目で指名をうけ、俊足で内外野どこでも守れる選手ですが、12試合連続盗塁のプロ野球新記録、そして育成選手として初の盗塁王にもなっています。これからも活躍を楽しみにすると共に応援しましょう。



柳田大輝さん 世界選手権で優勝

58期生の柳田大輝さん(東洋大学)が、U20世界選手権の男子4×100mリレーにアンカーとして出場し、前を走るアメリカとジャマイカの選手2名を抜き、日本初の優勝の原動力となりました。



西山和弥さん 大阪国際マラソンで日本人選手一位

52期生の西山和弥さん(トヨタ自動車)が、2月に行われた大阪国際マラソンに出場し、日本歴代7位・初マラソン日本最高記録の2時間6分45秒という素晴らしい走りをしました。



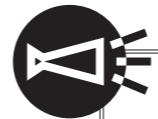
県下高校OB対抗ゴルフ 団体で準優勝、個人で優勝

10月5日、第45回県下高校OB対抗選手権(白水ゴルフ倶楽部・上毛新聞社主催)が行われ農大二高は団体で準優勝、個人では木村正伸さん(23期)が69のスコアで優勝しました。なお、選手権には29校169名が参加し、各校上位5名の合計打数で競いました。

同窓会育英奨学金について

同窓会は在学生に対し、「学業を継続するにあたり困難な事由」が生じた生徒に対して育英奨学金(無償)を給付しています。困難な事由とは、保護者が不慮の事故等で亡くなったりして学費納入が大変になった在校生の家庭に対し、学校側で検討して同窓会に要請があった生徒。同窓会員のみなさんからいただいた「同窓会年会費の一部」や「育英奨学基金ゴルフコンペ」「会員からの寄付」等が運用資金となっています。

今年のゴルフコンペでは、10万円を育英奨学金に寄付いただいた同窓生がいました。同窓会は、在学生のみなさんが安心して学校生活を過ごせるよう支援しています。



OB・OG会・同期会情報

期別会、OB・OG会の活動情報

タテヨコ

11期会

【復活】タテヨコ 期別同窓会情報

コロナ禍で実施できなくなっていた各期の同窓会も行われるようになってきました。期別の同窓会情報を募集しています。同窓会HPより情報提供ください。なお、同窓会本部より、新規で同窓会を行う際のサポート等も行っています。お気軽にご相談ください。

同窓会情報を寄せください。

同窓会ホームページ
<https://nounidousoukai.gr.jp/contact/>



周東佑京選手後援会設立のご案内

この度、プロ野球選手である周東佑京選手(福岡ソフトバンクホークス所属)の応援サポートを目的として、後援会を発足いたしました。

皆さまご存じのように、周東選手は盗塁王に輝き13試合連続記録を樹立し、今後益々の活躍が期待されています。私たちは、純粋に周東佑京選手を応援し、会員相互の親睦を深め、上州の野球界を盛り上げていけるような会にしたいと考えております。

つきましては、本会の趣旨・目的をご理解いただき後援会に寄付いただければ幸いです。寄付金(一般・企業協賛含)は一口10,000円(入会金:2,000円含)でございます。何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

周東佑京後援会 会長 清水 洋

寄付をいただいた方には、下記の特典があります。

- 一口(1万円):サイン色紙
- 三口(3万円):サイン色紙、サインボール
- 五口(5万円):サイン色紙、サインボール、楯

【お申込み・お問合せ／事務局】

〒370-000 高崎市飯塚町1150-5 光保険サービス株式会社
TEL 027-364-3338 FAX 027-364-9864
事務局長:上原 政弘

第27回育英基金 チャリティーゴルフ大会

日時／令和4年11月3日 文化の日
場所／サンコーカントリークラブ

育英奨学基金へのチャリティーと同窓生の懇親を目的に毎年開催されているゴルフ大会です。コロナ禍により2年連続で中止を余儀なくされましたが、3年ぶりに85名の参加により秋晴れのなか開催することが出来ました。

毎年東京から参加して頂いている1期生の石川通代さんから「高校卒業して長い年月を経て元気に過ごせているのも、子育を終えた時から始めたゴルフという『楽しみ』が心身を支えてくれているおかげです。20年以上参加しており、同窓生と触れ合える行事が長く続くことを願っています」とのコメントを頂きました。

チャリティーにより集まった温かく大きな財は、同窓会育英奨学基金から在校生の学業継続支援に活用されています。

毎年、11月3日文化の日に開催されるこのゴルフ大会は、ゴルフを通した同窓生の貴重な交流の場となっており、初心者の方でもお一人でも気軽に参加することができます。

【育英奨学基金への寄付】325,000円

【成績】[男子優勝]浅田孝さん(2期生) [期別優勝]26期のみなさん

[女子優勝]羽毛田周子さん(17期生) [期別最多出場]14期のみなさん



順位結果の一覧等はコチラから

<https://nounidousoukai.gr.jp/bunka/1473/>



同じ場所、同じ時を過ごした仲間が集う

「あれから30年…」



恩師に感謝

私にとって農大二高に在籍した3年間は、ラグビー部活動を中心でした。伊藤薰先生のご指導は時に熱く、且つ論理的で、毎日の厳しい練習によって私たちに自信を植え付けてください、最終的には全国大会準優勝にまで導いていただきました。部活動は年間に僅か数日しか休日がなく、今思えば、当時の伊藤先生がどれだけご自身の時間を犠牲にして、私たちの指導に向き合って下さっていたのか、本当に頭が下がる思いです。

現在は家業を継ぎ、教材販売会社の代表を務めています。縁あって農大二高の生徒用教材にも携わっており、放課後に学校を訪ねた際には、部活動に励む生徒がいる傍ら、熱心に自習に勤しむ生徒の姿を目にします。文武両道で高校生活を精一杯過ごす後輩達の姿を頼もしく思っています。

中等部の開校など、今もなお発展を続ける母校と、今後それぞれの舞台で活躍していく後輩達を、これからも教材を通じて応援していきたいと考えております。

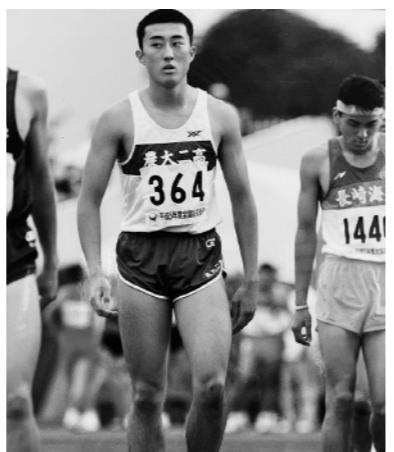
陸上一筋 出会いに恵まれた学園生活

第30期に入学し、陸上部へ入部。短距離の400mを専門として陸上一筋で駆け抜けていた3年生の頃の写真です。周りの方々に協力もいただきインターハイまで経験をさせて頂きました。高校時代は文武両道とはかけ離れ「武」のみを追求しておりました（笑）が、私は人との出会いに恵まれ、大切な場面では必ず様々な方に助けられてきた思い出ばかりです。

現在、私は地元高崎で創業110年を迎える株式会社しみづ農園という造園会社の5代目として商いを行っています。今でも仕事やプライベートで挫折しそうな時には、陸上部で培った精神力で自分自身の気持ちを奮い立たせています。元々頼りない私ですので助けられっぱなしの人生を歩んでいますが、これを人徳と捉えて、今後も「関わる人」を大切にし、引き続き助けられ人生を全うしていきたいと思います。（笑）



30期生 清水大助



30期生 狩野正樹

30期生
(1994年卒)

恩師からのメッセージ



関原真沙子先生

昭和38年、大学を卒業し赴任したのが、開校2年目の農大二高でした。懐かしさだけが思い出されます。校舎は、旧高崎15連隊兵舎跡で古い二階建て木造校舎でした。放課後になると、体が痒くなり帰宅すると、すぐに煮沸消毒が必要でした。床板の陥没や黒板が外れ落ちたりと、今の教室からは想像できない状況でしたが、大きな不満をもらすことなく日常生活を送っていました。新設校を自分達で築き発展させていこうと希望と責任に満ちていました。今のような複雑な社会の中で起きている陰湿な事件などはない社会だったと思います。教師と生徒の年齢差も少なく、本気で話し合う機会も多かったこと。共に泣き、共に笑いながら失敗を繰り返し成長したことが、28年間の教師生活の中で、とても貴重な経験だったと痛感させられます。



川村(旧姓發地)通恵先生

短期間の在職で、身に過ぎた機会と存じつつ寄稿させていただきました。もっと生徒と真剣に向き合い、努力してみたかったと強く思う日々です。農大二高との関わりは私の尊い励ましです、この度は有り難うございました。目下は高崎駅構内での二高生との会話、吹奏楽部の定演を楽しんでおります。

高齢者の私は24節気の移ろい、この世の森羅万象全てのものがいとおしく、五感をすましそれを近くに感じたいと思う日々です。コーラスは通算で25年程になり、高崎芸術劇場の柿落とし第九公演は近年の思い出です。日記も15年目に入り、半分は新聞等の切り抜きですが、見返して感動しています。最近

退職後は、主人と母親の介護に追われ、アッという間に時間が過ぎ、その間の同窓生や二高会のお招きに出席できなかったことを後悔しています。

30年以上も昔のことが折にふれ懐かしさを感じるのは、農大二高で過ごした生活が人生の中で大きなウエイトを占めていることだと痛感しています。このことは、周囲の人々に支えられ作りあげられたものだと考えると、人々との出会いを大切にしなければと改めて気付かされました。

現在の生活は、あまりにも無為な生活を反省し、週一度のデイケアに通い、脚腰を鍛える為に自分で自分に気合を入れている日常です。

農大二高と同窓会がますます充実し発展することをお祈りいたします。

はスマート等の御蔭で日常ではお目にかかる方や取扱いがない情報に接し、世界が一段と広がったことが大きな楽しみです。年齢を重ねると見える景色が変わってくるのも楽しいと捉えています。今の所は「日日是好日」の暮らしに達するの目標に、明朗闊達、向学叡智に憧れつつ、変化する時代にも臆することなく、今を生きる気持ちです。孫の世話をほぼ終了し、何かにチャレンジしたいものと考えています。

農大二高旧職員の会も幸いにもたちあげて頂き、時折り参加させて頂いております。皆で年をとっていく感があり、嬉しいものです。

末筆ながら卒業生皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

令和5年3月 退職教職員 永年にわたるご尽力に感謝申し上げます。

国語教諭	鶴生川 清 先生	昭和63.4～令和5.3在職	図書主任や新聞部顧問等で生徒がお世話になりました。また同窓会事務局員としてご尽力していただきました。再任用で引き続きお願いいたします。
英語教諭	名取 勝徳 先生	平成30.4～令和5.3在職	在籍期間は短かったですが、英語の教科指導や男子バレー部の顧問としてお世話になりました。感謝申し上げます。
事務	江原 賢司さん	昭和51.4～令和5.3在職	事務職員の傍ら、同窓会事務局長として同窓会発展の為に長くご尽力いただきました。感謝申し上げます。

計報

新井喜義先生(昭和47.4～平成20.3在職)
令和4年4月23日にご逝去されました。生徒会顧問や古文の授業を担当されていました。ご冥福をお祈りいたします。

山田雅夫先生(昭和40.4～平成15.3在職)
令和5年3月7日にご逝去されました。数学の授業を担当されていました。ご冥福をお祈りいたします。

令和4年度クラブ活動等実績

陸上部(短距離)

○群馬県高等学校総合体育大会
男子100m 優勝 中村大空

400m 優勝 原田真空

400mH 優勝 柳田聖人

400mR 優勝 橋本・フェルナンド大和・原島・中村

走幅跳 優勝 中村大空

1600mR 2位 福島・間口・中村・原田

110mH 4位 中島凌

走高跳 4位 塚越翔太

走幅跳 4位 柳田聖大

100m 5位 江原旭

200m 5位 フェルナンド大和

○関東高等学校陸上競技大会

男子400m 優勝 原田真空

400mH 優勝 柳田聖人

400mR 優勝 橋本・フェルナンド大和・原島・中村

1600mR 優勝 柳田・間口・中村・原田

走幅跳 優勝 中村大空

走幅跳 2位 柳田聖大

100m 5位 中村大空

110mH 5位 橋本悠

○全国高等学校総合体育大会

男子400m 3位 原田真空

400mR 優勝 柳田・中村・福島・原田

○第77回国民体育大会

男子 A 走幅跳 優勝 中村大空

B 走幅跳 優勝 柳田聖人

B110mH 2位 橋本悠

B300mH 2位 柳田聖人

男女混合R 4位 原田真空

A300m 6位 原田真空

陸上部(長距離)

○群馬県高等学校総合体育大会
男子 800m 優勝 青木丈佑

3000mSC 優勝 萩原一帆

5000mW 優勝 波渦琉心

1500m 2位 徳本陽

3000mSC 2位 矢嶋大悟

800m 3位 吉村虎乃輔

1500m 3位 青木丈佑

5000m 3位 徳本陽

3000mSC 2位 岩瀬駿介

5000m 5位 原田望睦

1500m 6位 瀬間元輔

○関東高等学校陸上競技大会

男子 800m 2位 青木丈佑

5000mW 4位 波渦琉心

5000m 3位 原田望睦

1500m 6位 徳本陽

○群馬県高等学校駅伝大会

男子 優勝 原田望睦・青木丈佑・徳本陽・瀬間元輔

町田陽太・伊田生・清水寛太

○関東高等学校駅伝大会

男子 4位 原田望睦・青木丈佑・瀬間元輔・徳本陽

伊田生・西森市直・町田陽太

○全国高等学校駅伝大会

男子 10位 原田望睦・青木丈佑・瀬間元輔・徳本陽

伊田生・清水寛太・町田陽太

剣道部

○群馬県高等学校総合体育大会 男子 団体 2位

○群馬県高等学校対抗剣道選手権大会 男子 団体 3位

ラグビー部

○全国高等学校総合体育大会群馬県大会 3位
○群馬県高等学校ラグビーフットボール7人制大会 2位
○群馬県高等学校ラグビーフットボール一年生大会 2位

水泳部

○群馬県高等学校総合体育大会
女子50m自由形 3位 大沢真央／100m自由形 3位 大沢真央
○群馬県高等学校選手権水泳大会
女子50m自由形 優勝 大沢真央／男子 50m自由形 3位 高橋伽羅

弓道部

○第17回高等学校弓道春季大会 男子 個人 2位 高木爽任・古川龍之介
○群馬県高等学校総合体育大会 男子 団体 4位 古川龍之介・鈴鹿勇貴・高木爽任・北村昂吾
○群馬県高校弓道選手権兼全国高校弓道大会県予選 男子 個人 3位 高木爽任
○第66回関東高等学校弓道大会 男子 個人 技能優秀 高木爽任

男子ソフトテニス部

○関東高等学校ソフトテニス選手権大会 伊澤海里・間庭賢人
○群馬県高等学校夏季ソフトテニス大会 優勝 間庭賢人

女子ソフトテニス部

○全日本高等学校ソフトテニス選手権大会
個人 高得梨々愛・新井月葵・生方弥生・松井瑞希
○関東高等学校ソフトテニス選手権大会
出場 新井月葵・高得梨々愛・生方弥生・松井瑞季・桑原悠那・山路若奈

サッカー部

○高崎市民スポーツ大会 3位

空手道部

○群馬県高等学校空手道選手権大会
男子 団体 組手 3位・形 4位

総合 4位

○群馬県高等学校総合体育大会

男子 団体 形 4位
総合 5位

女子 総合 6位

○群馬県高等学校新人大会

男子 組手-68kg級 優勝 新井秋音

女子 組手-59kg級 2位 廣井晴香

軟式野球部

○群馬県高等学校総合体育大会 2位

○全国高等学校野球選手権大会群馬県予選 3位

○秋季関東地区高等学校群馬県予選 優勝

吹奏楽部

○関東カラーガード2022 金賞
○第64回群馬県吹奏楽コンクール 高等学校Aの部 金賞
○第34回群馬県マーチングコンテスト 高等学校以上Aの部 金賞 Bの部 金賞
○第28回関東吹奏楽コンクール 高等学校部門Aの部 金賞
○第39回マーチングバンドパントワーリング マーチングバンド部門 金賞
○第28回関東マーチングコンテスト高等学校以上部門 Aの部 金賞 Bの部 金賞
○第35回全日本マーチングコンテスト 金賞
○第50回マーチングバンド全国大会 大編成 銀賞(3位)
○第20回マーチングステージ全国大会 優秀賞
○第20回ジュニア打楽器アンサンブルコンクール大会 最優秀賞

競技かるた部

○小倉百人一首競技かるた全国高等学校選手権大会
団体 3位 吉田真優・入船美織・河口凜・松嶋桃
西口あかり・石田実優・神谷七海・小竹彩子

B級 4位 吉田真優
E17級 2位 中野文乃
E11級 3位 神谷七海
E15級 3位 山本美緒
E級 4位 青柳真唯・石田実優
○第46回全国高等学校総合文化祭小倉百人一首かるた部門
競技の部 優勝 川口凜・吉田真優・入船美織
○第29回群馬県高等学校百人一首かるた大会
優勝 河口凜／2位 吉田真優／4位 入船美織
○第27回群馬県高等学校百人一首かるた学校対抗戦 優勝

演劇部

○群馬県高等学校総合文化祭演劇部門西毛地区大会 審査員特別賞 高橋美鈴

新聞部

○群馬県高校新聞コンクール 群馬県教育長賞

華道部

○高校生フラワーアレンジメントコンテスト 奨励賞 飯塚瑚々奈
○第26回全国高校生創作コンテスト 現代詩の部 優秀賞 高橋尚暉

ITC

○第22回日本情報オリンピック予選 敢闘賞 宮崎南奈・田辺裕翔・岡田元・諫訪竜生・永井怜正

生物部

○第66回日本科学賞群馬県審査委員会 奨励賞 反町健志

写真部

○第3回高校写真展 優秀賞 黒澤結／入選 反町健志、浦野羽

物理部

○東京農業大学併設中学校・高等学校文化部研究発表会
エネルギー保存の検証 光延嘉宏・石原大

生物部

○東京農業大学併設中学校・高等学校文化部研究発表会
「菌の消毒適切と培地縮小の謎」 中山明花・櫻井孝介・塙本真央・石原颯大
加藤美風・竹内未来・中村楓・野口智帆

その他

○群馬県高等学校新体操選手権大会
個人総合 4位 柴田伶音
クラブ 3位 柴田伶音
○群馬県高校生数学コンテスト
優秀賞 町田知宏
始動人アイデア賞 吉村虎乃輔
○第28回群馬県高等学校総合文化祭 美術・工芸部門展 優秀賞 大石由那
○全日本ピアノコンクール2022地区大会 高校生部門 入選 渡辺隼太郎
○第5回日本ミューズ音楽コンクール 自由曲の部高校コース 金賞 渡辺隼太郎
○青少年赤十字作文・ポスターコンクール
学校奨励賞 小須田明星・野村朱音
作文の部 特別賞 鈴木美夢
入道賞 桑子美咲
ポスター部 入道賞 町田佳奈美

OBレポート「シンド・カフカ×吹奏楽部」



2022年11月26日 高崎芸術劇場スタジオシアターにてシンド・カフカ率いるリズム・アンサンブル「el tempo directed by KAVKA SHISHIDO」(高崎では3回目の公演となります)と農大二高吹奏楽部とのコラボレーションを見に行きました。

このリズム・アンサンブルは元はアルゼンチン発祥で、特徴としてはコンダクターがその時の観客が放つ空気を読み取り興奮で100種類もあるバンド・サインを複数の奏者に送り、つくり上げる即興演奏システムです。

生徒たちも最初のうちは緊張ぎみでしたが、コンサートが進むにつれ緊張が笑顔に変わり演者全体が本当に楽しそうで観客と一緒に音を奏でる素晴らしいコンサートになりました。シンド・カフカさんも生徒さんたちの若いパワーに押されながらも楽しんでいる雰囲気が伝わってきました。

パラリンピックに出演した「el tempo directed by KAVKA SHISHIDO」と共演した生徒さんにとっては素晴らしい経験となつたことでしょう。(文:11期 高井和雄)

ITC部

ITC(Information Technology Club)は、2017年に創部された新しい部活です。現在1年生14人、2年生5人で活動しています。



ITCは「コンピューターを活用したモノ作り」を目的にした部活で、中でも主目的としているのが「競技プログラミング」です。高校生にとって最大の競技プログラミング大会である「情報オリンピック」での本戦出場を目指して活動しています。

今年は情報オリンピック一次予選を5人通過と過去最高の結果を出すことができました。また、女性部門では本選出場者も1名出ました。

来年度からは中等部生も加え、さらなる結果を目指して頑張っていきます。

新聞部 部長 森由羽(3年)

昨年のコンクールで県高校協会長賞をもらった際のコメントに「次の新聞は化けるからご期待ください」と書いた。新聞部のTeamsには「次は絶対最高賞!」と投稿した。変わりえぬしない農大二高新聞を変えてやろうと鼻息荒くしていた時期だった。1年生から感じていた不満をすべてぶつけてやろう、そう思っていた。部長就任後の改革事項を書き出してみた。「写真2枚制限の撤廃」、「文字数の短縮」、「小見出しの挿入」等々。思いついた20個ほどの改革事項はどれも当たり前にできてる然るべきものだ。やりたかったことを完全に実現できたわけではない。受賞した新聞の記事原稿を見たときは理想との乖離に絶望した。それでも県教育長賞の受賞は職員室で叫び声を上げるほど嬉しかった。思い出すだけでも涙が出るような日々の努力が報われたのだから。この先、農大二高新聞はどんな変化を遂げるだろうか。鼻息荒い部長は居なくなり、顧問の鶴生川先生も引退する。再び昭和の頃のようなアツい新聞になるだろうか。

令和3年度 決算書

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

一般会計

(単位：円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越金	441,147	会議費	116,807
入会金	5,160,000	事業費	2,498,844
年会費	3,666,415	事務印刷費	21,660
預金利息収入	33	広報費	468,200
雑収入	298,000	慶弔費	104,850
		特別事業費	2,000,000
		全国大会出場激励費	330,000
		特別会計へ繰出	2,000,000
		クラブ活動基金へ繰出	1,028,000
		育英奨学基金へ繰出	960,000
		予備費	0
		次年度繰越金	37,234
合計	9,565,595	合計	9,565,595

特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	2,000,000	一般会計へ繰出	0
預金利息収入	238	事務費	0
前年度繰越金	14,031,323	次年度繰越金	16,031,561
合計	16,031,561	合計	16,031,561

クラブ活動基金特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	1,028,000	二高特別活動振興基金	1,000,000
預金利息収入	31	事務費	550
前年度繰越金	4,071,320	次年度繰越金	4,098,801
合計	5,099,351	合計	5,099,351

育英奨学基金特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	960,000	奨学金	760,000
寄付金収入	0	クラブ活動基金特別会計へ繰出	0
預金利息収入	100	事務費	3,300
前年度繰越金	11,787,940	次年度繰越金	11,984,740
合計	12,748,040	合計	12,748,040

令和4年度 予算書

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

一般会計

(単位：円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越金	37,234	総会費	1,450,000
入会金	6,610,000	会議費	150,000
年会費	3,000,000	事業費	4,119,480
預金利息収入	35	事務印刷費	42,000
総会費	900,000	広報費	138,000
雑収入	300,000	慶弔費	98,000
		全国大会出場激励費	300,000
		特別会計へ繰出	2,259,789
		クラブ活動基金へ繰出	1,000,000
		育英奨学基金へ繰出	960,000
		予備費	330,000
		次年度繰越金	0
合計	10,847,269	合計	10,847,269

特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	2,259,789	一般会計へ繰出	0
預金利息収入	250	事務費	0
前年度繰越金	16,031,561	次年度繰越金	18,291,600
合計	18,291,600	合計	18,291,600

クラブ活動基金特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	1,000,000	二高特別活動振興基金	1,000,000
預金利息収入	30	事務費	770
前年度繰越金	4,098,801	次年度繰越金	4,098,061
合計	5,098,831	合計	5,098,831

育英奨学基金特別会計

収入の部	金額	支出の部	金額
一般会計より繰入	960,000	奨学金	960,000
寄付金収入	205,000	クラブ活動基金特別会計へ繰出	0
預金利息収入	100	事務費	6,160
前年度繰越金	11,984,740	次年度繰越金	12,183,680
合計	13,149,840	合計	13,149,840

事務局だより

【重要】年会費納入のご協力をお願いいたします！

本誌の発行事業は多額の費用が掛かります。同窓生のコミュニケーション誌として大きな役割を担っている「ダイコンプレス」の発行継続のために、年会費納入のご協力をお願いいたします。

住所変更の手続きを忘れずに

本誌は、同窓会名簿記載の住所（卒業時の住所）にお届けしています。引越しで住所が変わり、新住所に本誌の送付をご希望される場合は、下記記載の方法（1もしくは2）にて変更手続きを行ってください。

1. 年会費支払時に同振込用紙（赤色）の通信欄に新住所を明記する。
 2. 同窓会公式ホームページの「お問い合わせ」より住所変更を申し込む。
- *「お問い合わせ内容」欄に**同窓会番号の記入**をお願い致します。

年会費集計作業の省力化にご協力お願い申し上げます。

銀行ATMを利用し、年会費を右記銀行口座（②）まで振込みをご希望される場合は振込人名（お名前）の頭に**同窓会番号の入力**をお願い致します。

（例：S010203 ノウダイ ハナコ）

***同窓会番号**は同封している**年会費振込用紙（赤色）**に記載しております。

年会費納入方法

同窓会の運営にご協力ください。

年会費は、同窓会の運営のほか、現役生へのクラブ活動や学業支援に活用されています。

①ゆうちょ銀行

同封の振込用紙でゆうちょ銀行窓口よりお振り込みください。（ATMも利用できます。）

②銀行

下記口座へお振込みください。

*手数料につきましてはご負担ください。

金融機関 支店名:群馬銀行 高崎支店

科目 口座番号:普通 1493175

口座名義:ノウダイニコウドウソウカイ

年会費：一口 2,000円